

令和2年度第1回環境担当者研修会開催

開催日時 : 令和2年8月21日(金) 13:30~15:00

開催場所 : 草津市立まちづくりセンター

参加者数 : 37名(会員33名、行政3名、講師1名)



横江会長 挨拶



令和2年8月21日 草津市立まちづくりセンターにて、第1回環境担当者研修会を開催しました。今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から非常事態宣言が発令され、当協会においても、事業計画の見直し、イベント及び会議等の自粛を実施してまいりましたが、非常事態宣言が解除され、県でも、「コロナ警戒度独自基準」を設定して感染予防を目指しており、当協会も状況を見ながら、気を引き締め、三密環境に配慮しての開催をいたしました。



会員企業による
新型コロナウイルス感染症対策品展示

今年度は最初のテーマとして、国連が掲げる持続可能な開発目標(SDGs)が達成される社会を目指す為の取り組みを、自社にて開発された商品をSDGsの17の目標のうち、7つの目標の解決に重点的に臨みる内容として、「社内商品のSDGs目標への取り組み」について「誰でも」「簡単に」取り組める方法や考え方の紹介として、会員様のSDGsの取り組みに役立てていただけるよう企画いたしました。

研修内容は次の通りです。

テーマ：「社内商品のSDGs 目標への取り組み」

～SDGs を取り入れた営業手法～

講師：株式会社 井之商

技術・施工部 セールスエンジニア 藤井 真二氏



社内商品（スカイライトチューブ）は自然を生かす技術にて、太陽の光を反射させて部屋の照明に利用することを着想し開発された商品です。

そしてSDGsの17のゴールのうち、次の7項目の社会的課題に取り組まれています。

3. すべての人に健康と福祉を

「太陽の光をとどけるしごと」を通じて必要な場所や人に太陽の光をお届けし、自然光に照らされた明るくて気持ち良い快適な環境へと改善し、健康な暮らしを推進していく。

7. エネルギーをみんなにそしてクリーンに

太陽の光をそのまま使用する太陽光照明システムは、「信頼できるエネルギーサービス」として、又、「エネルギー効率倍増」など、持続可能なエネルギーサービスの供給に貢献していく。

8. 働きがいも経済成長も

自然エネルギーを活用する「太陽光照明システム・スカイライトチューブ」が広がることで、全国各地で効果的な生産を生み出し、経済成長へと貢献できる。

9. 産業と技術革新基盤をつくろう

太陽光照明システム・スカイライトチューブにより、照明がゼロエネルギー時代を目指しレジリエントなインフラ開発や改良改善による持続可能性を向上させるよう取り組む。

1 1. 住続けられる街づくりを

あたらしいビジネスモデルをつくることで、持続可能な人間居住計画・管理能力を強化していく。

1 2. つくる責任つかう責任

天然資源の効率的な利用を達成し、大手企業などに対して持続可能な取り組みを導入し定期報告に持続可能性に関する情報を盛り込んで頂くよう奨励していく。

1 3. 気候変動に具体的な対策を

自然エネルギーの活用を一般家庭から、大規模な企業まで広げることによって、環境影響や環境負荷の軽減、気候変動に起因する危険や自然災害に対するレジリエンスおよ

び適応の能力を強化していく。

以上7項目のSDGs目標に社内製品を取り込み、社会的課題の解決について自然を活かす技術でお役立ち、スカイライトチューブが目指すものは、「照明はゼロエネルギー時代へ」丁寧に説明していただきました。

滋賀県南部環境事務所 川崎所長



最後に南部環境事務所 川崎所長からご挨拶を頂きました。

本日は貴重なお話ありがとうございました。太陽光を使われたエコな商品にSDGsを導入された、非常に先進的な話を聞かせて頂きました。

現在滋賀県では、予算要求の際にSDGsの目標と合致させ、その目標の達成のため予算がどう使われるかを問われるようになっております。SDGsの目標は17ありますが、県だけではなく、世界に向かって進もうとしています。そのためには新しいサービスや商品、技術が必要となって参ります。県も積極的に支援を差し伸べていきたいと思っております。

皆様それぞれの仕事の中で、どうしたらSDGsを導入できるか考えて頂けたら、持続可能な社会づくりへ繋がっていくのではと思います。本日は長時間にわたってのご参加、誠にありがとうございました。

以上